

# 十和田市立 新渡戸記念館だより

## 迎春



十和田市立新渡戸記念館蔵書  
『狂歌春秋集』(弘化2/1845年出版)より  
(右上)  
『古今百風・吾妻餘波』(明治18/1885年出版)より「男の子の遊び」(左)、「女の子の遊び」(右下)



一月一日

初めの一步は道の半ばなかに当たる。何事も出ようが大切。  
花は芽にあり、大人の心は三つ兎に始まる。  
今年の事業は今日の心に起こる。

ひととせを 皆今日の心地して

のどかに世をも 過ごしてしがな(伊藤仁斎)

新渡戸稲造著『一日一言』(大正四年/一九一五年出版)より

伊藤仁斎 (1627 ~ 1705)

江戸前期の儒学者。初め朱子学を修め、のち古学を京都堀川の塾で教授。門弟3000人。著書「論語古義」など。(『広辞苑』より)

## 十和田、花巻両記念館の友好企画 企画展「新渡戸稲造かるた」 を花巻にて開催中!!

会期・平成10年11月25日～平成11年1月17日

先月より花巻新渡戸記念館にて「新渡戸稲造かるた一歌でつづる稲造の世界」展を開催しています。この企画展は、今年7月十和田市で開催された青森県文化観光立県宣言関連イベント「ふるさと発見セミナー」の展示部門として当館



花巻新渡戸記念館企画展示室

が担当した企画展です。この度十和田、花巻両新渡戸記念館の友好として、この企画展を貸出しました。

今回は7月に展示した「稲造かるた」パネル33点をはじめとする159点の資料を貸出し、稲造直筆の色紙など花巻新渡戸記念館所蔵の稲造関係資料約10点と、当館館長の個人コレクションの稲造著書など13点を中心に展示を構成しました。稲造博士が折々に心情を歌った自作、他作の和歌の「巨大かるた」(70×45cm)を通して、楽しみながら学べる企画展です。7月にお見逃しの方は、ぜひ花巻でご覧下さい。



当日配付のパンフレット

# 小学生しポーターのしんぶん とっても上手だね!



十和田市立南小学校



名川町立剣吉小学校



八戸市立新井田小学校



十和田市立北園小学校



十和田市立洞内小学校



五戸町立切谷内小学校



十和田市立滝沢小学校



南郷村立市野沢小学校

★社会科新聞を送って下さった学校から、各一枚ずつご紹介しました

## 館内感想ノートから



私の母、遠友夜学校の卒業生です。  
(10月札幌市民さん)



東京から戻ってきて一ヶ月、十和田市はいつも強風で天気が変わりやすく、この地で育ったんだと、改めて考えました。家のそばの防風林や、稲生川を見るたびに、なんてすごい土地に私は生まれたんだらうと感動しています。  
(5月十和田市民さん)



十和田(三本木)開拓がいかに大変であったか、その当時の様子が良く分かります。ここを見学に来られるみなさん、特に地元の小学生のみなさんには非常に開拓の歴史を学んでいる様子で、頼もしく思います。歴史をすることはその土地を好きになる第一歩だと思います。今後も十和田の礎として維持されることを願います。  
(11/13名古屋市S・Mさん)



自分の生まれ育った故郷・十和田市の素晴らしさをいづれ自分が子供を持った時にうまく伝えられる様にもっと勉強したいと思いました。  
(6/18十和田市H・Eさん)



大変良かった、参考にして今後の農業振興に努めます。  
(12/9岩手県・玉山村農業委員会のの方々)



福岡からずっと自転車こいできました。昨晩は青森ねぶたを見て楽しみ、今日はこの記念館にて知識を楽しみました。  
(8/5福岡県Kさん)



パソコンが入っていてびっくりした。今後インターネットもできるといいな  
(12/12十和田市民さん)



昔のことがよくわかるってとてもたのしいですね。  
(9月八戸市M・Nさん)

ご意見ご感想ありがとうございました

新渡戸氏ゆかりの地をたずねて 5

新渡戸氏の居城「西根城」をさがして

岩手県・金ヶ崎町/10月20日調査

『新渡戸氏系譜』によると新渡戸良胤(？～1508)は1470年ごろ胆沢郡西根(現・岩手県金ヶ崎町)の古城に入り、永禄8年(1565)の落城まで約100年間、良胤一胤望一頼長の三代が西根にいたと伝えられます。その居城(西根城)について金ヶ崎町で調査をしました。



「西根城」跡と伝わる場所をたずねて

金ヶ崎町中央生涯教育センター千葉周秋氏に新渡戸氏居城跡の可能性ある3つの場所を案内して頂きました。

◆金ヶ崎町西根「花館」

胤望の弟胤隆を祖とする西根千葉家の墓碑銘『系譜抄』には、西根城を「花館」ともいうことが記されています。そして特に西根の「花館」には「ニトベ馬場」と呼ばれる一角があったとか、月星の紋がついた板碑があったなど伝承が残っていることから、この場所が西根城跡として有力視されています。しかし、地形的に符合しない面もあり、今後の発掘調査が待たれています。



下壇館は背後

西根千葉家の伝承に、良胤は「花館」に居り、「上壇館」に次子・胤隆、「下壇館」に長子・胤望を配して守りを固めたと伝えています。また、千葉周秋氏によると下壇館の南2.5キロにある法雲寺は、当時の新渡戸氏菩提寺「碧緑山安興寺」跡に建っているとの事でした。

◆金ヶ崎町三ヶ尻「花館」

三ヶ尻の「花館」も、その地名から西根城である可能性がいわれています。



◆金ヶ崎町「金ヶ崎城」

『岩手県史』では、新渡戸氏の「西根城」は永禄8年(1565) 柏山伊勢守により攻められ、新渡戸氏が和賀に落ち延びた後、南部家臣河崎氏の居城となり「河崎城」と呼ばれたとしています。さらにその後「金ヶ崎城」と呼ばれるようになったのではと推測しています。



『舊伝録』から一新渡戸氏は「百岡城」にも勢力のばした？

新渡戸稲造の曾祖父・新渡戸維民(1769～1845)が書いた『舊伝録』(『系譜』の注釈書)には「良胤一胤望一頼長の三代が「西根の柵」(西根城)に居たが、胤望の時、西根十二郷を古川公方より安堵されたので、「百岡城」を居城とした(1520年ごろから?)。百岡城にもとは長坂信胤が居た。」などの記載があります。『系譜』等の資料に、頼長の時柏山伊勢守に攻められ、永禄8年(1565) 頼長は自害、妻子は和賀へ逃れたとありますので、これらの記載から西根十二郷に勢力を広めた胤望の時から約40年間、「百岡城」に勢力を置いた可能性が推測されます。

「百岡城」は大名城、柏山館といわれ、柏山氏が建仁年間(1201～1203)から天正18年(1590)の奥州仕置まで380年余り居城としていたといわれており、「新渡戸氏入城まえ百岡城に居た」とある長坂信胤も長坂家系図を見ると柏山氏に仕えた人物です。通説では16世紀前半はまだ柏山氏の勢力が強く、胆沢郡全域を柏山氏が勢力下に置いていたとされていますが、もし『舊伝録』の記載が実証されれば、大きな発見につながるものと考えられます。資料に乏しい中世のことですので、これからも調査研究を続けていきたいと思っています。



柏山館=百岡城

# トピックス 水沢市

## 新渡戸稲造直筆の記念碑

—江戸時代のクリスチャン・後藤寿庵の碑—

後藤寿庵は慶長19年（1614）～寛永元年（1624）伊達政宗につかえ、胆沢の用水路「寿庵堰」を造った人物。後にキリシタン弾圧のため、南部藩にのがれたといえます。稲造は、後藤が自分と同じキリスト教徒である事、稲造の父、祖父が水路工事を行っている事、胆沢が新渡戸氏ゆかりの地である事などから、昭和8年（1933）5月11日この地を訪れた折にこれを書いたと考えられます。



「寿庵後藤之遺址 新渡戸稲造書」と書かれています

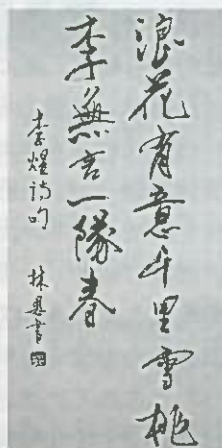
### 関連情報

#### ●10月1日～12月31日までの来館小学校

（十和田市）米田小学校/藤坂小学校/滝沢小学校/南小学校/伝法寺小学校/洞内小学校（八戸市）白銀南小学校/旭ヶ丘小学校/明治小学校/多賀台小学校/桔梗野小学校/城北小学校/町畑小学校（六戸町）大曲小学校/開知小学校/長谷小学校（東北町）蛭沢小学校/淋代小学校（上北町）上北第一小学校（五戸町）切谷内小学校（三戸町）目時小学校（階上町）道仏小学校（南部町）平良崎小学校（平内町）小湊小学校（南郷村）市野沢小学校

#### ●中国現代画家・祝林恩氏夫妻、三八五流通（株）の羅文斌海外事業室長の案内で来館

国家一級美術師の称号をもつ祝氏は「旅先ではその地の歴史を知るのが楽しみ」として当館を訪れました。「町の歴史を記念するものがない所は文化的市といえない」と語り、当館見学の間、感銘を書にして館長に贈呈しました。また記念館には「誠道」と色紙に書いて下さいました。



### 〈編集後記〉

館内リニューアル、秋篠宮ご夫妻ご来館、県文化観光立県記念イベント共催など上水百四十年の節目の年は多事多難の内に年の瀬となりました。どうぞ良いお年をお迎え下さい。来年も宜しくお願い致します。

●東北電力情報誌『白い国の詩』で三本木原開拓を紹介  
県史編さん室主事・中野渡一耕氏が東北電力の情報誌『白い国の詩』11月号に「江戸時代の最後を飾る新田開発」として太素塚、三本木原開拓を取り上げ紹介しました。



#### ●写真家和田光弘氏撮影のはがきセット『十和田の四季』記念館にて発売中

当市出身の写真家和田光弘氏撮影、市内写真はがきセット『十和田市の四季』（価格600円）が発売となり、当館でも販売しております。太素塚、駒街道など市内見所の写真12枚を収録。

### 活動報告

#### ●日本博物館協会東北支部大会、第46回全国博物館大会に館長出席

9/17～9/18に山形県で開催された日博協東北支部大会、11/5～11/6に茨城県で開催された第46回全国博物館大会に館長が出席しました。



#### ●館長を講師とする講演

- 10/23 三小父兄会（市立三本木小学校・杉の子大ホール）
- 12/2 ふるさと歴史塾（十和田湖町公民館）
- 12/16 青森県内商工会議所総務・共済制度担当者連絡協議会（十和田商工会議所）

#### ●企画展『新渡戸稲造かるた』花巻新渡戸記念館へ貸出

#### ●岩手県金ヶ崎町で新渡戸氏ゆかりの地調査

### 元朝参り

太素顕彰会では毎年太素塚への元朝参りの方々にお神酒とおいしい甘酒の無料サービスを行っています。どうぞおいで下さい。

発行 太素顕彰会  
 十和田市立新渡戸記念館  
 ☎034-0031 青森県十和田市東三番町24-1  
 TEL (FAX) 0176-23-4430  
 印刷 有限会社 岩間印刷所